

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 1 日作成)

<b>小委員会名</b>	建築物の減衰機構とその性能評価小委員会	主 査 名：荒川利治 就任年月：2009 年 4 月
<b>所属本委員会 (所属運営委員会)</b>	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：中島正愛 主 査 名：河井宏允
<b>設 置 期 間</b>	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
<b>設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)</b>	<p>荷重指針等に記されている減衰評価法を勘案しながら、減衰の定量的・解析的評価方法と既存データベースに加えて、新たに実測・実験データを収集・分析し、減衰機構の整理とそれに基づく減衰性能を評価することが目的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度：減衰機構の整理と力学的メカニズムの検討と関連データの収集、具体的な活動を行うための WG の設置</li> <li>・2 年度：減衰機構に関わる実観測・実験データの収集とデータベース化</li> <li>・3 年度：減衰機構に関する問題点の整理と最適減衰性能の評価方法の検討</li> <li>・4 年度：減衰機構とその性能評価結果の設計への適用法の検討、シンポジウム等の開催、報告書もしくは書籍の出版</li> </ul>	
<b>委員構成 (委員名 (所属))</b>	委員公募の有無：無	
	主査 荒川利治 (明治大学工学部) 幹事 荻本孝久 (神奈川大学工学部), 神田亮 (日本大学生産工学部) 委員 岩田範生 (近畿大学工学部), 扇谷匠己 (長谷工コーポレーション技術研究所) 斎藤知生 (清水建設技術研究所), 佐武直紀 (文部科学省研究開発局) 新宮清志 (日本大学理工学部), 須田健一 (都市未来建築コンサルタントネットワーク) 曾田五月也 (早稲田大学創造理工学部), 中村尚弘 (竹中工務店技術研究所) 二宮正行 (エム・イー・エム一級建築士事務所), 平田裕一 (三井住友建設技術研究所) 宮本泰志 (構造計画研究所耐震技術部)	
<b>設置 WG (WG 名：目的)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種建築物の実測減衰データベース作成・分析 WG 一般建物、免・制振構造、シェル・大空間構造、木造住宅などの軽量低層構造に関する減衰データベースの構築、分析、減衰機構の整理とその性能評価。</li> <li>・耐震耐風設計における減衰機構 WG 減衰推定の高精度化を考慮した耐震耐風設計法の構築のために、上部構造の減衰機構を把握する簡易応答予測法の整理。免震・制振構造物の新しい適用領域として木造住宅等の軽量低層構造物の減衰機構・減衰モデルの解明。</li> <li>・地盤と建物の動的相互作用による減衰評価 WG 逸散減衰を解明するために、実観測記録と解析結果の比較から、逸散減衰を定量的に評価。起振機実験による動的相互作用における逸散減衰データの取得。</li> </ul>	
<b>2010 年度予算</b>	150,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s32/">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s32/</a>

項 目	自己評価
<b>委員会開催数</b>	6 回 (年度内計画を含む)
<b>刊行物</b> (シンポジウム資料等は除く)	
<b>講習会 催し物</b> (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	参加者数 名
<b>大会研究集会</b>	参加者数 名
<b>対外的意見表明・パブリックコメント等</b>	
<b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 本小委員会設置に当たり策定した活動方針に基づいて設置した 3WG を中心に研究活動を行った。3WG は以下の通りである。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種建築物の実測減衰データベース作成・分析 WG</li> <li>・耐震耐風設計における減衰機構 WG</li> <li>・地盤と建物の動的相互作用による減衰評価 WG</li> </ul> 2. 3WG 間の活動計画の連絡、調整を行った。
<b>委員会活動の問題点 ・課題</b>	特になし